

令和4年3月4日（金）、東京湾再生官民連携フォーラムは東京湾再生推進会議に、「第三期に向けた東京湾再生計画へのいくつかの政策提案」を提出・手交式実施

東京湾の水質改善のため、平成14年に関係省庁及び東京湾周辺の地方自治体からなる「東京湾再生推進会議」が設置され、「東京湾再生のための行動計画（第二期）」（平成25年度～令和4年度）に基づき各施策の取組が進められている。

東京湾再生官民連携フォーラムは、東京湾再生推進会議に第三期の基本計画の策定にあたり、令和4年3月4日（金）、「第三期に向けた東京湾再生計画へのいくつかの政策提案」を提出し、手交式(写真)を行った。

平成25年には、東京湾の環境改善に向けた活動や行動の輪を広げることが目的として、民間が参画する「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立され、官民で連携・協働した取組を進めている。

今回の政策提案では、目標の副題となる「東京湾流域3千万人の心を豊かにする東京湾の創出」提案や東京湾の背後人口3千万人とのつながりの強化や連携のキャッチボール促進等が、東京湾再生推進会議に提案された。



手交式 右：推進会議 服部幹事長（海上保安庁総務部参事官）
左：フォーラム議長 來生 信

東京湾再生推進会議においては、「東京湾再生のための行動計画（第三期）」（令和5年度～令和14年度）（予定）へ向けた検討を進めつつ、引き続き東京湾再生官民連携フォーラムと連携しながら、本提案を踏まえ、次期行動計画の検討を進める予定としている。

詳細に関しては、3/8 国土交通省 HP 広報発表：[報道発表資料：東京湾再生官民連携フォーラムから政策提案がありました
～官民連携による取組を進めています！～](#) - [国土交通省 \(mlit.go.jp\)](#)を参照ください。



政策提案手交時の様子